

～「凡事徹底」で気持ちのよい学校にしよう～

- ㊦ やさしく 助け合う子(心)
 - ㊧ よく学び よく考える子(頭)
 - ㊨ いきいき元気に活動する子(体)
- 文責 校長 田崎 幸子



楽しかった歓迎集会・歓迎遠足

4月19日(金)集会委員会の企画・運営で1年生の歓迎集会を体育館で行いました。

まず、1年生が6年生に手を引かれ笑顔で入場です。他の学年の子どもたちも笑顔いっぱい1年生を迎えました。入場後はクイズなどを楽しみ全校で新入生を歓迎する気持ちを伝えることができた歓迎集会でした。集会委員の子もたちも、初めての集会でも堂々と進めてくれました。さすがです。



歓迎集会の後、(1, 6年生は運動場でゲーム(交流)後)「歓迎遠足」へ行きました。6年生が1年生の手をひいて梅坂公園へ、2・3年生は田代公園へ、4・5年生が東公園へ出かけました。好天に恵まれ、同学年や異学年でなかよくお弁当を食べたり、広場で遊んだりして、楽しいひとときを過ごすことができました。遠足を通して、1年生と6年生が慣れ親しんだり、新しい学級の友だちができたり、それぞれの目的地で自然と親しんだりして、思い出に残る楽しい一日となったようです。特に6年生は、さらに最上級生としての自覚ももてたようで、頼もしく見えました。

交通安全教室(1年生、3年生)



4月23日(火)、1年生と3年生を対象に「交通安全教室」を行いました。鳥栖警察署、鳥栖が丘地区交通対策協議会、鳥栖市役所から、指導員として参加していただきました。1年生は主に、横断歩道の渡り方、3年生は自転車の乗り方について学習しました。

安全指導や訓練は、一人一人が自分の命を自分で守れるようになることを目的に継続して指導しています。弥生が丘小学校は、皆様の登下校の見守りなどで交通事故を防ぐことができます。これからも、子どもたちが事故に巻き込まれることがないように、ご協力をお願いいたします。

- 横断歩道を渡るときも「右・左・右」を確認して渡るように指導しています。自転車の乗り方については、以下のことを重点的に指導しています。
- ◇ヘルメット着用の徹底(それで救われる命がある)
 - ◇運転がふらつく間は、道路での運転はさせない。
 - ◇飛び出し注意(狭い道→広い道、三叉路、交差点)
 - ◇自転車は車と同じ。人に接触しないよう1列で。ながら運転はだめ。

お願い

車で送られる場合は、第2駐車場へ

弥生が丘小学校では、子どもたちの安全のために、登校班による登校、学年や学年部などの集団下校をしています。しかし、やむを得ず自家用車で送迎される場合はこれまでどおり、第1駐車場(敷地内・舗装)ではなく、第2駐車場(敷地外・砂利)を使っただくことになっています。(※駐車場北側から入り、駐車場西側に縦列駐車してください)

第2駐車場をお願いする理由は、次のとおりです。
◇第1駐車場の入口は、多数の登校班や中高生の自転車が横切っていくので、進入車と重なる。第2駐車場は、横切る登校班がない。

◇第2駐車場の方が、第1駐車場より見通しがよい。道路脇で停車後子どもがその場から降りているときに自転車(中学生)とぶつかりそうになった「ヒヤリハット」事案があります。児童の乗り降りは必ず駐車場ですててください。また、忘れ物などを車から渡されることなどもないようお願いいたします。

子どもたちの安全・安心のために、みんなが気持ちよく過ごせる学校にしていけるために、ご協力をお願いいたします。

駐車場や敷地内の通過、使用についてお願いです。
○第1駐車場、第2駐車場ともに人の行き来があります。スピードを出さず、十分な確認をして停車や発信をしてください。特に、北側舗装道路を通過される時は、車がスピードを出しながら通過していることもあります。歩行するときも左右の確認をしてください。
○給食運搬車の出入りや駐車中は、進入禁止としています。入らないようお願いいたします。
○校舎側や体育館側、校舎と並行している駐車スペースは「軽自動車専用」です。大きな車を停めていると他の車がでられないことがあります。

敷地内での事故や怪我がないように、ご協力をお願いいたします。

お知らせ SC(スクールカウンセラー)、SSW(スクールソーシャルワーカー)について

学校だより「やよいっ子」第1号、「令和6年度弥生が丘小教職員一覧」でも紹介していましたが SC と SSW について紹介します。今年度も、SC 高 幸子先生、SSW 於保 さつき先生が本校の担当です。SC も SSW も、不登校、いじめ、虐待等、児童生徒を取り巻く様々な問題に対応します。SC はそうした問題に対し、悩みのある児童生徒や保護者と直接会い、カウンセリングを行いながら心のケアをしていきます。SSW は、学校、医療機関、地域、家族など、児童生徒を取り巻く環境、児童生徒の置かれた様々な環境への働きかけを行っていきます。学校、家庭、学校外の専門機関と連携・協働をしていく上でのシステム作りの専門家になります。SC は学校勤務計画をもとに、来校日時について担当からプリントを配付しお知らせいたします。(場合によっては緊急支援派遣を依頼することもあります) SSW は学校から連絡したり家庭から連絡したりして、児童生徒にとってよりよい環境を作れるように支援していただいています。

児童のことや家庭のことなど、相談したいことなどありましたら学校へ連絡してください。

*SC や SSW については「文部科学省」HP にも掲載されています。